

# 東映アニメーション株式会社

2018年3月期 第2四半期決算 (2017/4~2017/9)

『劇場版 マジンガーZ / INFINITY』  
イタリア 2017年10月31日(火) 公開予定  
フランス 2017年11月22日(水) 公開予定  
日本 2018年1月13日(土) 公開予定



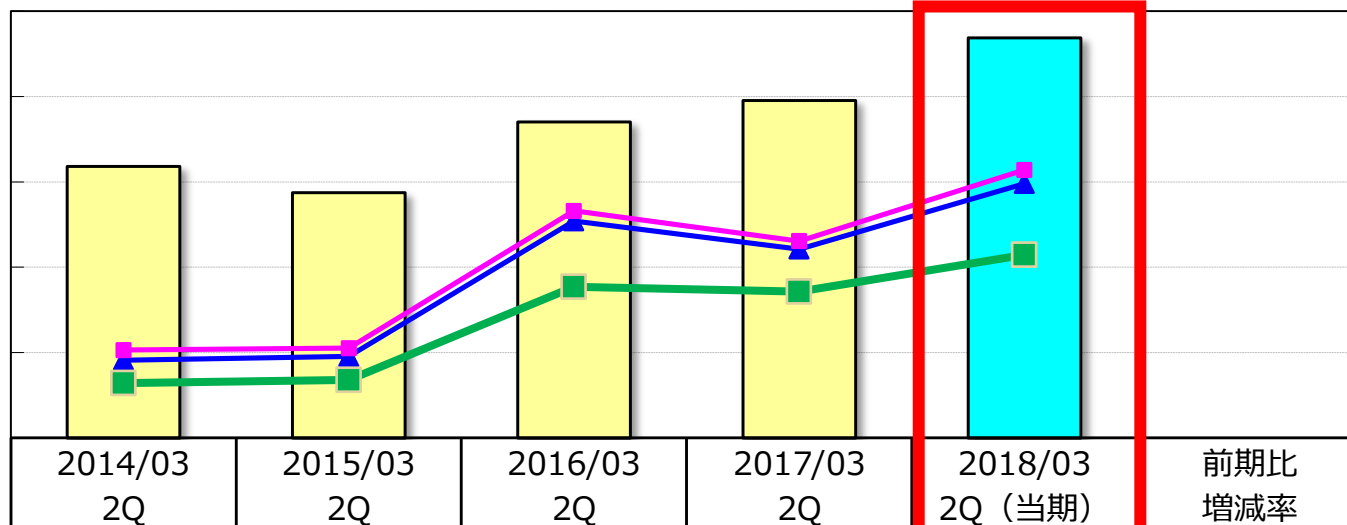
# 2018年3月期第2四半期決算(連結)

- 売上高及び各利益は、第2四半期としての過去最高額を記録
- 国内外で、『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』を中心としたゲーム化権が好調
- 中国向け複数作品の映像配信権販売が好調に推移

売上高

(単位：百万円)

25,000  
20,000  
15,000  
10,000  
5,000  
0



利益

10,000  
8,000  
6,000  
4,000  
2,000  
0

	2014/03 2Q	2015/03 2Q	2016/03 2Q	2017/03 2Q	2018/03 2Q (当期)	前期比 増減率
売上高	15,920	14,373	18,519	19,774	23,444	18.6%
売上原価	11,551	9,704	10,838	12,612	14,620	15.9%
販管費	2,546	2,757	2,596	2,736	2,861	4.6%
▲ 営業利益	1,822	1,911	5,085	4,426	5,962	34.7%
■ 経常利益	2,059	2,106	5,320	4,612	6,281	36.2%
■ 当期純利益	1,286	1,360	3,541	3,433	4,291	25.0%

# 2018年3月期第2四半期 セグメント別内訳(連結)

(百万円)		2017年3月期 2Q	2018年3月期 2Q	増減率
映像製作・販売事業	売上高	7,154	7,667	7.2%
	セグメント利益	1,578	1,010	△36.0%
著作権事業	売上高	8,534	13,019	52.5%
	セグメント利益	3,895	6,097	56.5%
商品販売事業	売上高	3,329	2,341	△29.7%
	セグメント利益	124	63	△49.4%
その他事業	売上高	916	527	△42.4%
	セグメント利益	50	0	△99.3%
連結	売上高	19,774	23,444	18.6%
	営業利益	4,426	5,962	34.7%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

# 2018年3月期第2四半期 セグメント別分析①(映像製作・販売)

(百万円)	17/03 2Q	18/03 2Q
売上全体	19,774	23,444
営業利益	4,426	5,962
<b>映像製作・販売事業</b>	<b>7,154</b>	<b>7,667</b>
劇場アニメ	998	421
テレビアニメ	1,691	1,793
コンテンツ	389	391
海外映像	3,288	3,896
その他	786	1,164
著作権事業	8,534	13,019
国内著作権	5,284	6,785
海外著作権	3,249	6,233
商品販売事業	3,329	2,341
その他事業	916	527

## 映像製作・販売事業 (▲ 前期比7.2%増)

- 「劇場アニメ」は、前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットに相当するものがなかったことから、大幅な減収
- 「テレビアニメ」は、放映本数が増えた(4作品→6作品)ことから、増収
- 「コンテンツ」は、「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上があったものの、映像パッケージの販売が全体的に軟調に推移したことから、ほぼ横ばい
- 「海外映像」は、中国向けに複数作品の映像配信権、北米向けに「ドラゴンボール」シリーズ等の映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収
- 「その他」は、定額映像配信市場の拡大もあり、国内での映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

# 2018年3月期第2四半期 セグメント別分析②( 版權・商品・その他 )

(百万円)	17/03 2Q	18/03 2Q
売上全体	19,774	23,444
営業利益	4,426	5,962
映像製作・販売事業	7,154	7,667
劇場アニメ	998	421
テレビアニメ	1,691	1,793
コンテンツ	389	391
海外映像	3,288	3,896
その他	786	1,164
<b>版權事業</b>	<b>8,534</b>	<b>13,019</b>
国内版權	5,284	6,785
海外版權	3,249	6,233
商品販売事業	3,329	2,341
その他事業	916	527

## 版權事業 ( ↑ 前期比52.5%増 )

- ・「国内版權」は、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が前期より更に好調に稼動したことから、大幅な増収
- ・「海外版權」は、全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』に加え、北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移したことから、大幅な増収

## 商品販売事業 ( ↓ 前期比29.7%減 )

- ・前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーンに相当するものがなく、大幅な減収

## その他事業 ( ↓ 前期比 42.4%減 )

- ・前年同期にあった「聖闘士星矢」の催事関連に相当するものがなかったことに加え、「ワンピース」が前年同期に比べ軟調に推移したことから、大幅な減収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

# 2018年3月期第2四半期 決算総括

(百万円)	17/03 2Q実績	18/03 2Q実績	増減	増減率
売上高	19,774	23,444	3,669	18.6%
売上原価	12,612	14,620	2,008	15.9%
売上総利益	7,162	8,823	1,661	23.2%
販管費	2,736	2,861	125	4.6%
営業利益	4,426	5,962	1,535	34.7%
営業外収益	246	340	94	38.1%
営業外費用	60	21	△38	△63.9%
経常利益	4,612	6,281	1,668	36.2%
特別損益	204	△123	△328	-
税引前当期純利益	4,817	6,157	1,340	27.8%
法人税等	1,504	1,848	343	22.9%
法人税等調整額	△120	17	138	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	3,433	4,291	857	25.0%

## 売上高

- 増収幅が大きい事業
  - ①海外版權[2,983] ⇒ ②国内版權[1,501]⇒
  - ③海外映像[608]
- 減収幅が大きい事業
  - ①商品販売[△987] ⇒ ②劇場アニメ[△577]⇒
  - ③イベント[△388]

## 原価・売上総利益

- 売上総利益率：37.6%(前期:36.2%)  
映像製作・販売事業全体の利益率は悪化したものの、収益性が高い海外事業・版權事業の売上比率が大幅に上昇したため、改善

## 営業外損益

- 営業外収益 [+94]
  - ①為替差益[+103] (前期:0 当期:103)
  - ②受取配当金[+43] (前期:117 当期:161)
- 営業外費用[△38]  
為替差損[△52] (前期:52 当期:0)

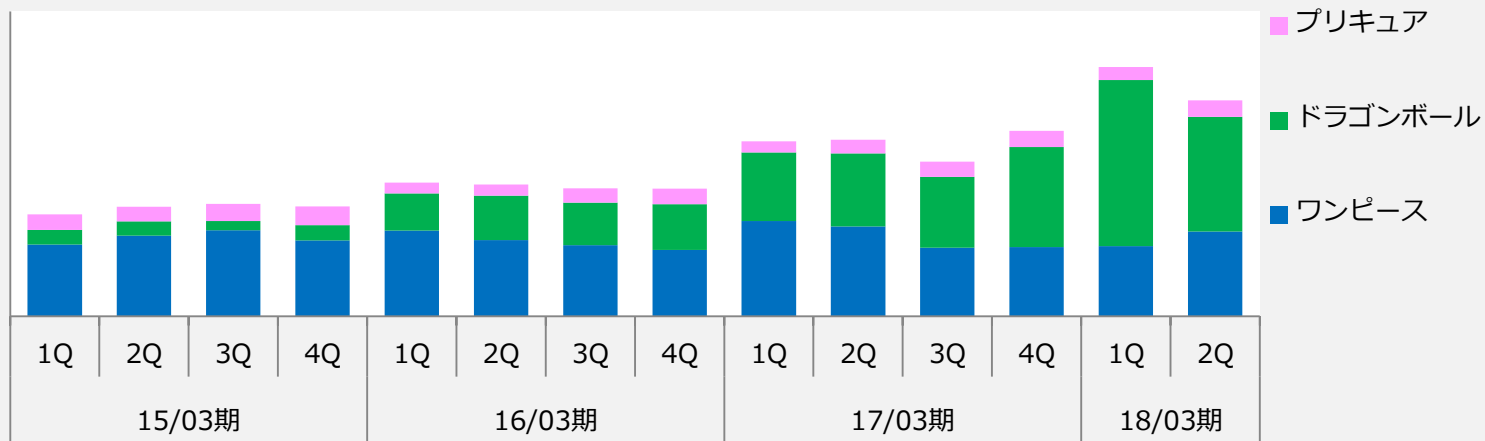
## 特別損益

- 新宿オフィス売却による減損[△123]  
(前期:投資有価証券売却益260)

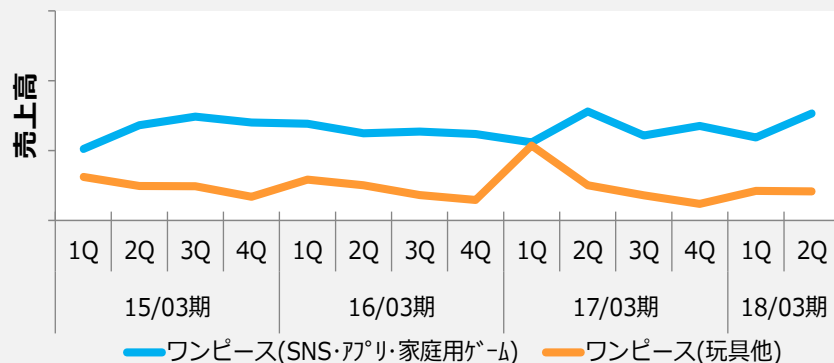
# 主要作品の国内版權事業の状況

- 「ドラゴンボール」のアプリゲームは前期より更に好調に稼動
- 2大タイトルの比重拡大、アプリゲーム化権への依存が拡大

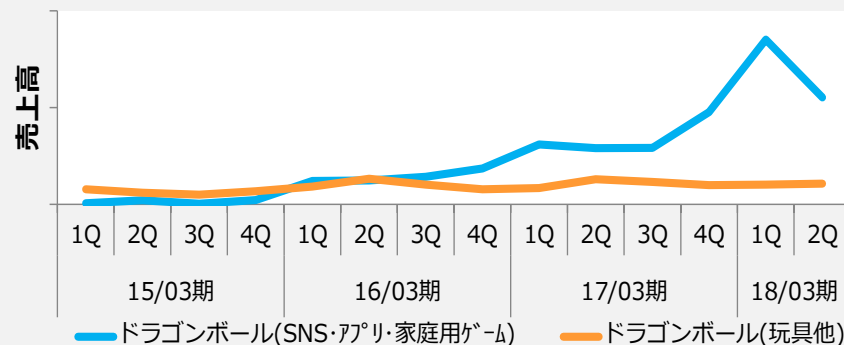
## 主要3作品の国内版權売上高の推移



## ワンピース 国内版權売上高の推移



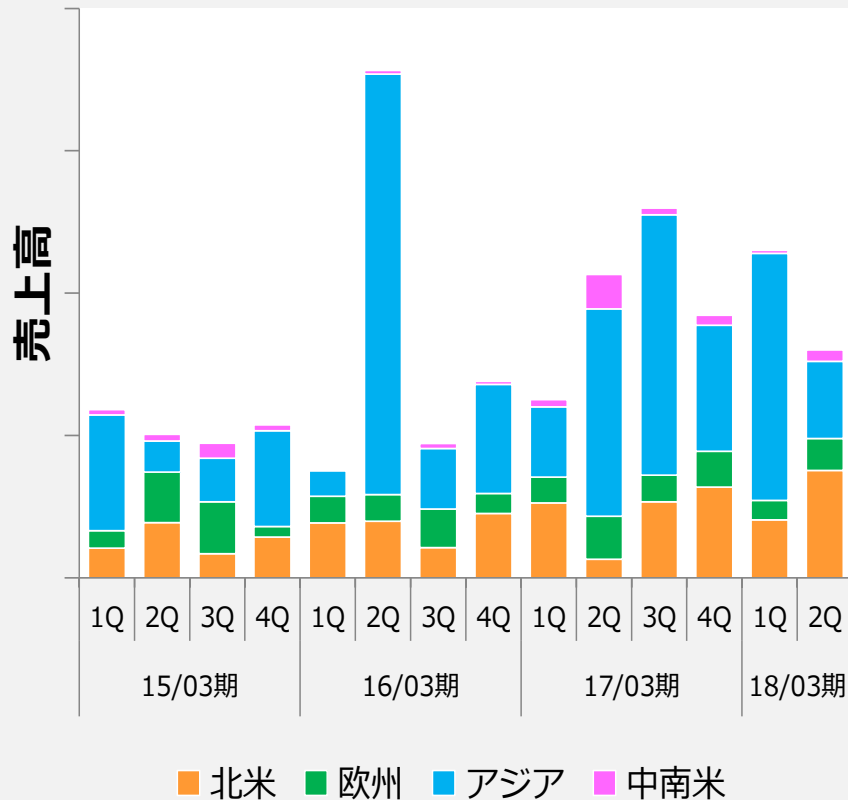
## ドラゴンボール国内版權売上高の推移



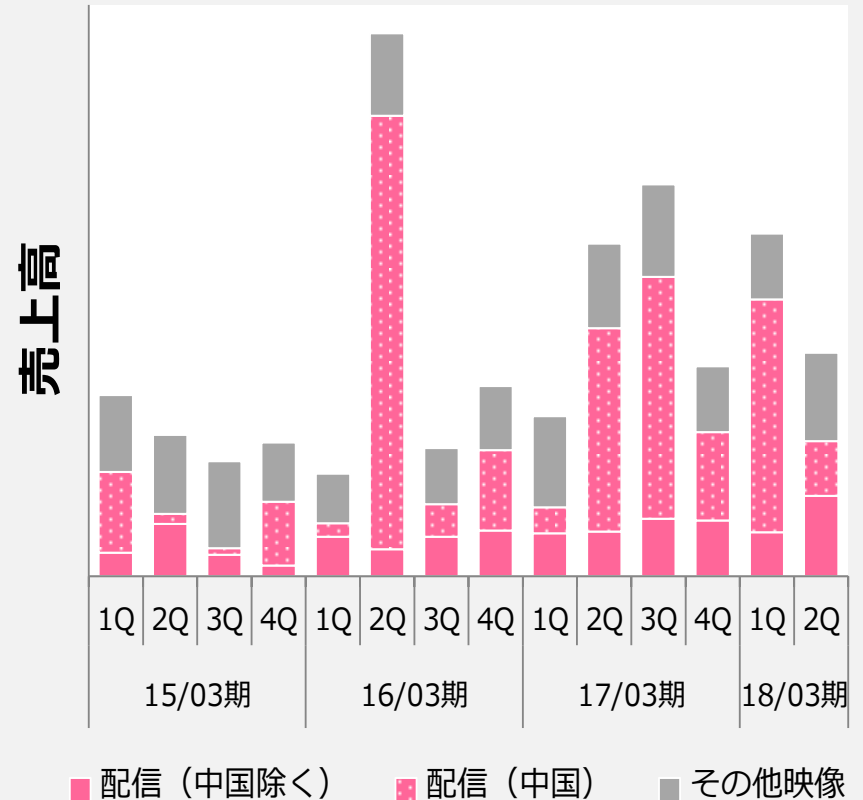
# 海外映像事業の状況

- 中国向けに複数作品の映像配信権販売が好調
- 北米向けに「ドラゴンボール」シリーズ等の映像配信権販売も好調に稼働

## 海外映像 売上高の推移



## 事業内訳

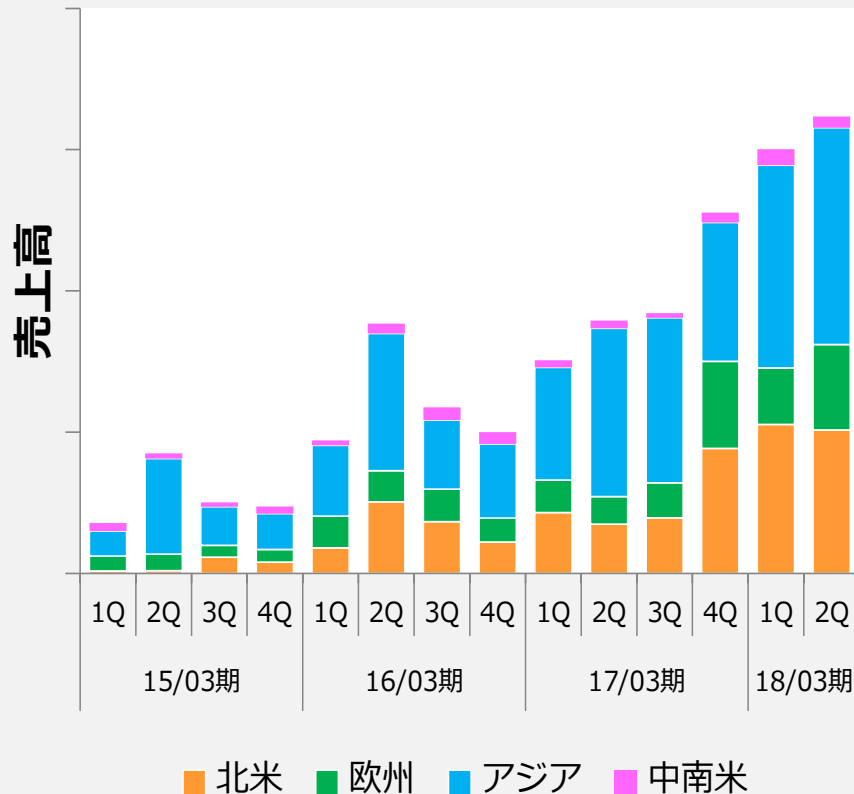




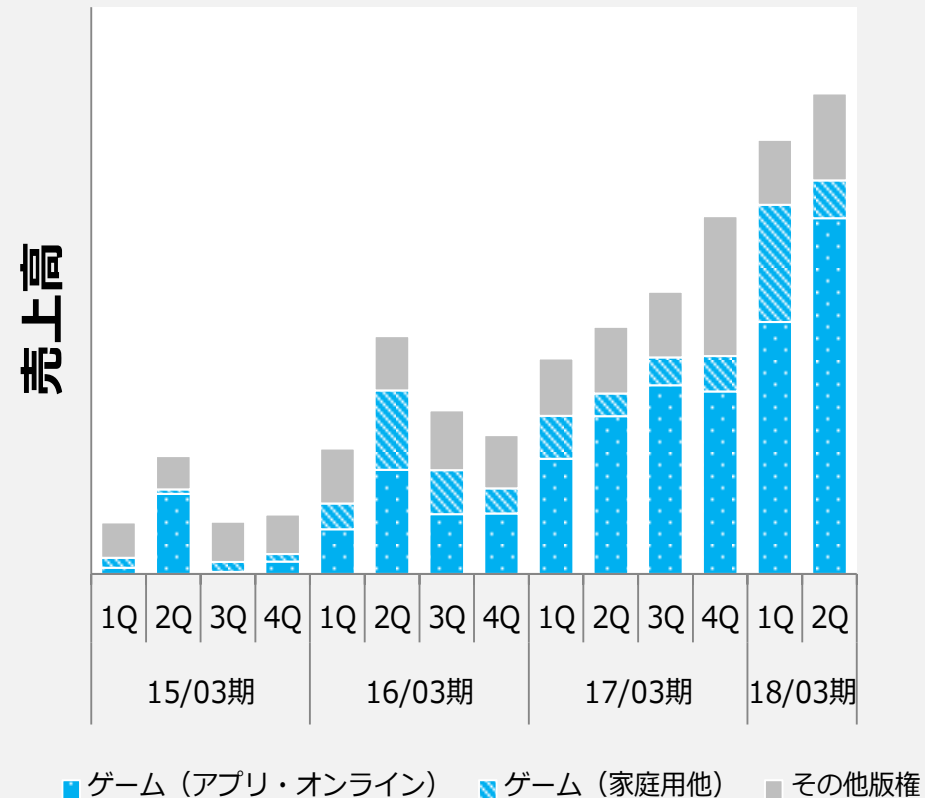
# 海外版權事業の状況

- 全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が好調
- 北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移

## 海外版權 売上高の推移



## 事業内訳



# 2018年3月期 業績予想に対する進捗状況について

(百万円)	18/03通期予想※17/7/28開示 進捗状況			(参考)17/03通期 実績		
	予想値	2Q実績	進捗率	通期実績	2Q実績	進捗率
<b>売上高</b>	<b>38,000</b>	<b>23,444</b>	<b>61.7%</b>	<b>40,747</b>	<b>19,774</b>	<b>48.5%</b>
<b>営業利益</b>	<b>9,100</b>	<b>5,962</b>	<b>65.5%</b>	<b>10,133</b>	<b>4,426</b>	<b>43.7%</b>
<b>経常利益</b>	<b>9,400</b>	<b>6,281</b>	<b>66.8%</b>	<b>10,362</b>	<b>4,612</b>	<b>44.5%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>6,300</b>	<b>4,291</b>	<b>68.1%</b>	<b>7,203</b>	<b>3,433</b>	<b>47.7%</b>
<b>映像製作・販売事業</b>	-	<b>7,667</b>	-	<b>15,939</b>	<b>7,154</b>	<b>44.9%</b>
劇場アニメ	-	<b>421</b>	-	<b>1,765</b>	<b>998</b>	<b>56.6%</b>
テレビアニメ	-	<b>1,793</b>	-	<b>3,254</b>	<b>1,691</b>	<b>52.0%</b>
コンテンツ	-	<b>391</b>	-	<b>942</b>	<b>389</b>	<b>41.3%</b>
海外映像	-	<b>3,896</b>	-	<b>7,860</b>	<b>3,288</b>	<b>41.8%</b>
その他	-	<b>1,164</b>	-	<b>2,117</b>	<b>786</b>	<b>37.2%</b>
<b>著作権事業</b>	-	<b>13,019</b>	-	<b>18,192</b>	<b>8,534</b>	<b>46.9%</b>
国内著作権	-	<b>6,785</b>	-	<b>10,439</b>	<b>5,284</b>	<b>50.6%</b>
海外著作権	-	<b>6,233</b>	-	<b>7,752</b>	<b>3,249</b>	<b>41.9%</b>
<b>商品販売事業</b>	-	<b>2,341</b>	-	<b>5,531</b>	<b>3,329</b>	<b>60.2%</b>
<b>その他事業</b>	-	<b>527</b>	-	<b>1,315</b>	<b>916</b>	<b>69.6%</b>

**【下期以降の前期比  
変動要因】**

- (±) 「ドラゴンボール」  
ゲーム化権販売
- (+) 中国向けアプリ  
ゲーム複数タイトル  
リリース
- (-) 「ドラゴンボール」  
欧米向け玩具化  
MG反動減
- (-) 新スタジオ維持管理費
- (-) 人員増強

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

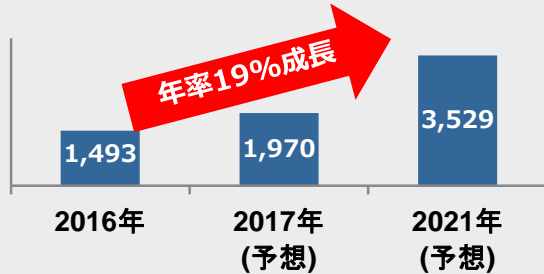
# 2018年3月期下期以降の展開

## アプリゲーム化権・映像配信権販売の更なる拡大に期待

### 世界のアプリ市場動向

出典：App Annie「アプリ市場規模予測2016年～2021年」

アプリDL数推移予想（億回）

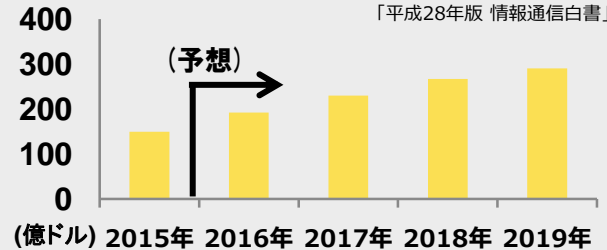


アプリストア総収益（億ドル）



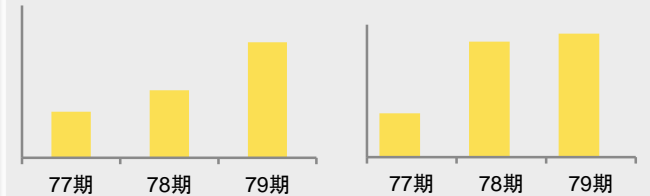
### 世界の映像配信市場動向

出典：総務省「平成28年版 情報通信白書」



当社：国内配信権収入推移

当社：海外配信権収入推移



⇒配信市場の拡大に伴い国内外で配信権売上が伸張

### ■「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」

- 全世界累計2億ダウンロード突破
- 世界14カ国App store売上ランキング1位獲得

### ■ 中国向けアプリゲーム複数タイトルリリース

- 「聖闘士星矢 小宇宙幻想伝」
- 「龙珠Z 覚醒」
- 「航海王 燃焼意思」
- 「アム大冒険」

## 多様な海外ビジネス展開

### 海外先行劇場上映

#### ■「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」

- イタリア 10月31日(火)公開予定
- フランス 11月22日(水)公開予定
- 国内 2018年1月13日(土)公開予定

### 玩具展開

#### ■ ドラゴンボール関連

- 欧米でフィギュアやトレーディングカードなど玩具を積極展開

### ショップ・催事

#### ■ ワンピース関連

- 上海に専用劇場が今冬オープン予定
- 「麦わらストアin台湾」、「麦わらストアin上海」オープン予定

# 展開スケジュール

## 展開スケジュール

映像製作・販売事業 著作権事業

商品販売事業 その他事業

18/03期 2Q	「ワンピースプレミアショー2017」(USJ)開催 [6/30-10/1]
	「ドラゴンボールZ THE REAL 4-D」(USJ)開催 [6/30-10/1]
	「ドラゴンボール天下一武道祭2017」開催 [8/10-8/27]
	「Sailor Moon store(セーラームーンストア)」ラフォーレ原宿にオープン[9/23]
	「デジモンアドベンチャーtri.」第5章 劇場上映予定 [9/30]
18/03期 3Q	「映画キラキラ☆プリキュアアラモード」公開予定 [10/28]
	例外劇場版 マジンガーZ / INFINITY」公開予定 [10/31]
	通常劇場版 マジンガーZ / INFINITY」公開予定 [11/22]
	PS4・PSvita「デジモンストーリー サイバースルゥース」発売予定 [12/14]
	「おしりたんてい謎解きフェスティバル」(池袋キャンパス) 開催 [12/23~1/8]
	中国向けアプリゲーム「聖闘士星矢 小宇宙幻想伝」リリース予定 [2017年冬]
	中国向けアプリゲーム「龙珠Z 覚醒」リリース予定 [2017年]
	中国向けアプリゲーム「航海王 燃焼意思」リリース予定 [2017年]
	中国向けアプリゲーム「アール大冒険」リリース予定 [2017年]
	中国向けPCゲーム「航海王 ONLINE」リリース予定 [2017年]
18/03期 4Q以降	国内「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」公開予定 [1/13]
	「ONE PIECE LIVE STAGE」中国初専用劇場が上海にオープン [冬]
	全世界向け家庭用ゲーム「DRAGON BALL FighterZ」発売予定 [2/1]
	HTML向けゲーム「ドラゴンボールZ ブッチギリマッチ」リリース予定 [2018年春]
中国向けアプリゲーム「龙珠 最強の戦い」リリース予定 [2018年]	

## トピック

### ドラゴンボール展開

- アプリゲーム「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」  
-全世界2億ダウンロード突破  
-北米、仏等14カ国でセールスランキング(iOS)1位獲得
- 全世界向け家庭用ゲーム「DRAGON BALL FighterZ」  
2018年2月1日リリース予定

### ワンピース展開

- 「麦わらストアin台湾」  
11月3日~26日オープン予定
- 「麦わらストアin上海」  
11月18日オープン予定
- 「ONE PIECE LIVE STAGE / 航海王大舞台秀」  
中国では初めてとなる「ワンピース」のリアル  
ライブステージが今冬オープン予定

### 新作展開

- 「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」  
イタリア 10月31日(火)  
フランス 11月22日(水)  
日本 2018年1月13日(土)公開予定
- 「デジモンアドベンチャーtri. 第6章」  
2018年初夏劇場上映予定
- 「おしりたんてい」  
アニメ化プロジェクト始動  
「おしりたんてい謎解きフェスティバル」池袋キャンパスにて  
12月23日~1月8日開催予定

# 中長期の成長に向けた取り組み

## 企画・製作プロダクションとしての原点回帰

業界や視聴者から選ばれるスタジオであり続けるための投資を加速

### 製作現場の環境整備

- ・大泉スタジオ建替え  
2017年8月竣工  
本年末に引越しを行い1月から本格稼働予定

### 既存の座組に捉われない企画

- 幅広いメディア展開を見据えた企画製作
  - ・テレビ放映・配信向け (Amazonプライム)  
「正解するカド」
  - ・配信向け (Netflix)  
「Knights of the Zodiac: 聖闘士星矢(仮)」

### パイロット映像製作の積極化

- 新たな収益の柱となるヒット作の種を作るため、パイロット映像の製作を積極化  
⇒おしりたんていアニメ化決定

## 創発企業2.0への進化

全ての社員が収益を最大化する企画や仕組みを考え、新たなビジネスを創出するための体制整備の推進

### 働き方改革

- ・生産性の向上と昼型勤務のシフト
  - 製作スケジュールの適正化やプロセスの見直しにより高いクオリティと生産性の維持・向上
  - 昼型勤務推進による従業員のワークライフバランスの充実

### 人事制度の見直し

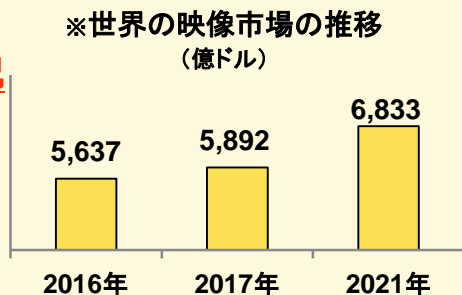
- ・考課制度の見直し  
社員が高いモチベーションと自主性を持って成長できる組織風土の醸成

## 海外市場の更なる開拓による成長

周辺事業や海外事業において、既存事業の枠を超えた新たなチャレンジを積極化

### 海外市場

#### ・展開状況



中国動画配信サイト (iQiyi) アニメ再生回数ランキング  
1位「ワンピース」  
2位「ドラゴンボール超」  
→国内他社作品、現地作品を抑えて上位独占  
成長市場で高い人気を保持

### 更なる海外展開加速

- ・海外向け作品
  - 「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」
  - Netflixオリジナルシリーズ  
「Knights of the Zodiac: 聖闘士星矢(仮)」
  - ハリウッド向けを含む複数作品を企画中
- ・海外拠点機能拡大
  - 上海に現地法人を設立

# 配当について

## 期末配当

2017年3月期

1株あたり 普通配当30円 + **特別配当100円**

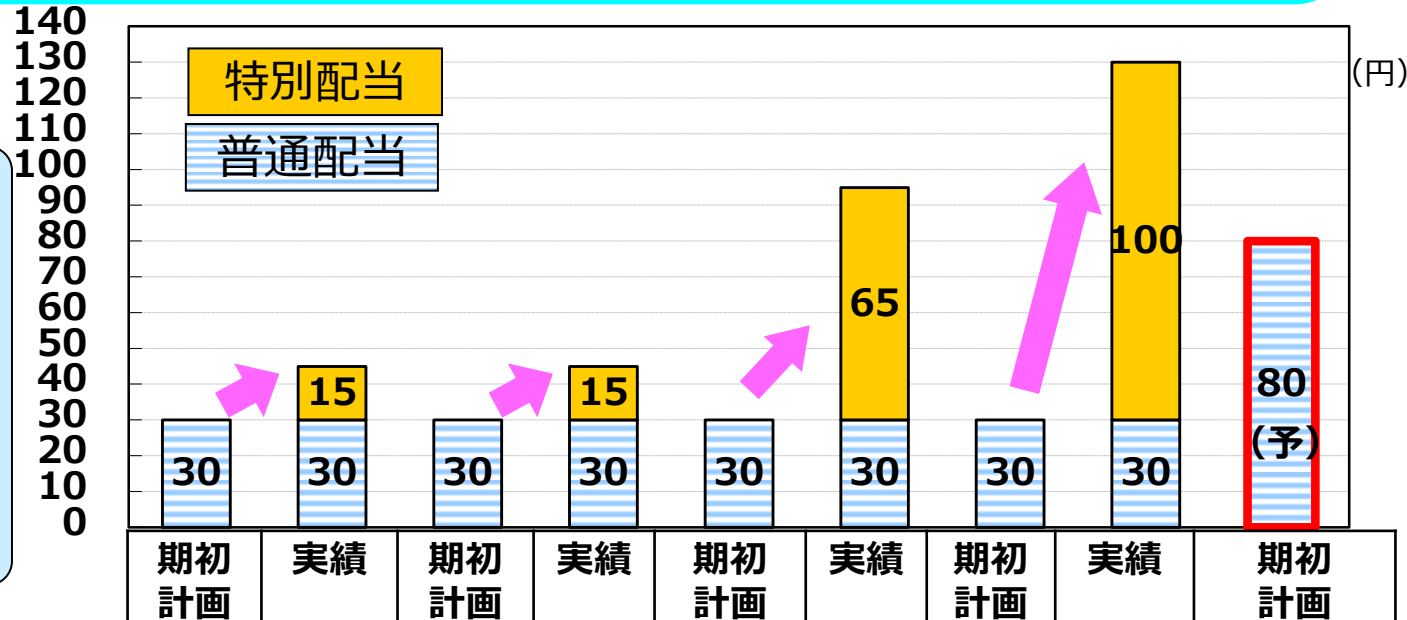
2018年3月期

1株あたり 普通配当80円(予想)

※ 30年3月期の期末配当金につきましては、期初段階の数値を記載しております。  
 予想の修正については、連結業績等を勘案したうえで、別途検討する予定です。

## 基本方針

継続的且つ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績などを総合的に勘案して決定しています。  
 配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。



年度	14/03	15/03	16/03	17/03	18/03
1株当たり配当金	45円	45円	95円	130円	80円 (予)
配当性向	26.3%	25.2%	25.2%	24.6%	25% (予)

# ご参考①(放映中作品)



日曜朝8:30～ ABC・テレビ朝日系列



日曜朝9:30～ フジテレビほか



日曜朝9:00～ フジテレビほか

# ご参考②(2018年3月期予定作品)

『劇場版 マジンガーZ / INFINITY』  
イタリア 10月31日(火)公開予定  
フランス 11月22日(水)公開予定  
日本 2018年1月13日(土)公開予定

『映画プリキュア 最新作』  
2018年春 公開予定



NO  
IMAGE



# ご参考③(2018年3月期以降予定作品)

『デジモンアドベンチャーtri.第6章「僕らの未来」』  
2018年初夏 劇場上映予定

NO  
IMAGE